

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：赤星 健太郎

事業名 <small>たんばしまむらやません</small> 丹波島村山線街路事業	事業区分 街路	事業主体 長野県
起終点 自：長野県長野市若里 <small>わかさと</small> 至：長野県長野市若里 <small>わかさと</small>		延長 0.5 km
事業概要 当該路線は、長野都市圏総合交通計画により長野市中心市街地の中環状道路に位置付けられており、当該区間は国道117号と国道18号を結び、環状の南側の一部を受け持っている。 沿道には福祉、医療及び教育等の各施設が集積している道路であり、また、裾花小学校の通学路にもなっており、朝夕を中心に歩行者及び自転車の交通量も多い。現況は車道3車線で歩道も狭いため、本事業により車道の4車線化及び歩道の拡幅を行う。		
H10年度事業化	S44年度都市計画決定 (H7年度変更)	H11年度用地着手 H15年度工事着手
全体事業費 43億円		事業進捗率 93%
計画交通量 25,400台/日		供用済延長 0 km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 21.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 3.3 / 46 億円 (事業費：2.9/45.7億円) (維持管理費：0.4/0.4億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 72 / 72 億円 (走行時間短縮便益：63.2/63.2億円) (走行費用減少便益：6.4/6.4億円) (交通事故減少便益：2.0/2.0億円)
基準年 平成19年		
感度分析の結果 交通量変動：B/C=1.1 (交通量-10%) B/C=2.5 (交通量+10%) 事業費変動：B/C=1.4 (事業費-10%) B/C=1.7 (事業費+10%)		
事業の効果等 ・円滑モビリティの確保（整備なしの場合に対して渋滞損失時間を3.5億円縮減） ・安全な生活環境の確保（小学校の通学路の歩道が設置され歩行者の安全性の向上） 他8項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 当該道路は長野市都市計画マスタープランにも位置付けられており、市や地元地区からの整備要望がある。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 当該道路付近の長野駅周辺第二土地区画整理事業が進捗し、道路整備やオフィスビル、マンション立地が進んだ。（土地区画整理事業進捗率 H10末：4.6%→H19末：6.9%）		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地については事業対象面積の99%が用地買収完了。 ・工事については事業費の51%が完了。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後とも、引き続き事業を推進し平成21年度の供用を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 工事にあたっては、コストの縮減に努めながら事業を推進する。		
対応方針 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。